



「馬込川のマイクロプラスチック調査」をスタート!

プラスチックの海洋流出が世界共通の環境課題になっている。特にマイクロプラスチックは、直径5mm以下と小さく、有害な化学物質を吸着する性質があり、生態系や健康への悪影響が懸念されている。その課題解決のためには、流出していると懸念される製品、流出量、流出経路を把握し、データに基づいた具体的な施策を打ち出すことが必要だ。

そこで、浜松市政向上委員会では、政務活動の調査として、浜松市環境政策課、NPO法人エコライフはままつ、浜松の海を守る会のご協力をいただき、馬込川のマイクロプラスチックについて、一般社団法人ピリカ(東京都)に、調査・分析・報告を依頼した。これまでのピリカでの調査ではプラスチックの流出実態は地域ごとに大きく異なっていて、有効な対策も異なることがわかっている。

2020年10月、ピリカが特許を取得している、マイクロプラスチック採取装置アルバトrossを使い、馬込川の4地点の川の水を採取する作業を実施した。現在分析中で、1月には結果を報告できる予定。



浜松女性議員の会、児童相談所を視察(2020.11.12)



浜松やらまいか大使・歌手ERIKOさんと(雄踏町出身)

一人ひとりのHAPPYのために

鈴木めぐみは、どの政党にも所属していません。
鈴木めぐみは、市民のための議員を目指しています。

めぐみProfile

- 1961年浜松市鴨江生まれ、射手座B型
- 積志中学校、静岡県立浜松北高等学校、中央大学文学部卒業。
- 自動車販売会社にて、女性営業職第1号としてバンバン車を売る。
- 長男出産後、女性、子育て、まちづくりの市民活動に参加。
- 99~2011年 2015年~浜松市議会議員
- 2011年~子ども・若者支援のNPOスタッフ

新型コロナウイルスのことを考えるとで眠れなくなるほど、不安になっている方がいらっしゃいます。不安を声に出すことで、落ち着くこともあるみたいで。私でよかったら、話してね。一人で抱えないでね。



浜松Happy化計画

レポートPart2 Happy plan for Hamamatsu!!



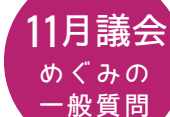
2020年は、新型コロナウイルスに生活日々振り回された年でしたね。2021年は、1日でも早くコロナが収束し、平和で安心して暮らせる年になりますように、願っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、私自身のこれまでの活動を振り返ってみますと「当事者を無視して、勝手に当事者のことを決めない」「自分のことは自分で決める」という点を大事にしてきました。「女性なんだから、、、こうあるべき」「子どもだから、何でも我慢しなくてはならない」「障害者には無理だから、健常者が決めてあげるよ」などということに対して異議申し立てをし、そこからの解放を求めていく活動をしてきましたし、今後もそうしていきたいと考えています。

しかし、支えである共助や公助がほころんでいては、自分のことを自分で決められません。「自助・共助・公助」について、私は共助と公助が自助と横並びになればならないと思います。

「あなた自身の人生、あなたが決めて、一歩進んでください。そのためには共助も公助も、あなたを応援します」そんな浜松にしていきたいと思います。

浜松市議会議員
鈴木めぐみ



中学校8割が校則を修正

~昨年のめぐみの一般質問がきっかけ~

昨年11月議会で、私は市内の中学校の校則の中には、「制服を男女別に規定」「髪型の男女別に細かく規定」「下着の色は白」「靴下の色指定」などがあり、見直しすべきと花井教育長に一般質問をした。その後、浜松市の中学校の校則、制服についての問題は、様々なメディアに取り上げられ、反響は大変大きいものであった。有名なデジタルメディアに取り上げられた時には、半日で5000コメントを超え、「バズった」。

めぐみ 校則、制服の見直しについて、何校がどのような見直しをしたのか。

【花井教育長】

全ての中学校で見直しを行った。8割の中学校で、制服、頭髪、靴や靴下の色、防寒着等の項目に置いて、色や形の指定や禁止、男女の区別等の記載の仕方について変更を行った。

制服については、約6割の中学校が、男女の区別の表記をなくし、各学校の制服の組み合わせの中から、生徒が選択できるように見直しをした。

女子生徒の制服にスラックスを導入する際には、男子制服を含め、ブレザーへの変更を検討するケースが多い。見直しにあたっては、子どもや保護者、卒業生などの意見も参考にしながら、慎重に判断、検討していく必要がある。ある程度の期間が必要だ。



▲めぐみの一般質問動画(2020.12.1)

編集・発行 めぐみ応援・浜松市政向上委員会

浜松市東区半田山 2-5-10 TEL/053-431-1511
MAIL/megu@megumi-happy.net FAX/053-544-5451
HP/www.megumi-happy.net

鈴木めぐみ自宅

浜松市中区曳馬 6-5-17
TEL/090-8672-8534

※めぐみ応援会員募集中・内部資料



犯罪被害者条例の制定を検討する！と市長が答弁

犯罪の被害は誰しものがあう可能性がある。ある日突然事件に巻き込まれ、マスクミに追われ、あらゆる噂で傷つき、ショックで育児、家事、介護が手につかなくなり、外出ができなくなり、食事も満足に取れない、仕事にいくことができないなど、身体的、精神的、経済的に大きなダメージを受ける。

浜松市では、「犯罪のない安心で安全なまちづくり条例」の第16条で被害者支援が規定されているが、特化した条例はない。平成19年にくらしのセンターを総合窓口として設置したものの、現在までに相談はゼロ。くらしのセンターが犯罪被害者の支援窓口だと分かっている市民はどのくらいいるだろうか。

昨年度浜松市内で、殺人、強盗、放火、強制性行等の凶悪事件が37件も起きている。それ以外に、無免

許運転、飲酒運転などによる交通事故被害も多く起きていて、人々に最も身近な自治体こそ、被害者のニーズを把握し、機動的な支援を行うことが期待されている。

めぐみ 犯罪被害者支援に特化した条例を制定する考えはないか。



【鈴木市長】

犯罪の被害にあわれた方の生活面などに手厚い支援を求める声もあることから、**さらに寄り添った支援の充実が図れるよう、犯罪被害者支援に特化した制定に向けて検討していく。**

<犯罪被害に関する相談先>

相談先	支援内容	電話番号
浜松市犯罪被害者支援総合窓口 (くらしのセンター内)	必要な情報の提供、助言、生活支援など	053-457-2635
静岡県性暴力被害者支援センターSORA	電話相談、インターネット相談、身体的ケア、心理的ケア、法的支援、関係機関への付き添い	054-255-8710 <small>※「性暴力」とは、犯罪に該当するかどうかを問わず、性的な写真や動画を撮られることや、夫婦やパートナーによる同意のない性交など、本人が望んでいない性的な行為全て</small>
認定NPO法人静岡犯罪被害者支援センター	電話相談、面接相談(専門相談員や臨床心理士が対応) 法律相談(犯罪被害者支援対策委員会所属の弁護士が対応) 裁判所、検察庁、警察署、病院等への付き添い	054-651-1011
静岡県弁護士会	犯罪被害者相談、刑事裁判での被害者支援、損害回復支援	054-252-0008

市民向けにデジタル支援を！

めぐみ デジタルデバイド(情報格差)を少なくするために、今後どのような施策をしようと考えているのか、特に高齢者、低所得者、障がい者に対して、どのように考えているのか。



【鈴木市長】

将来像を「繋がる未来」を共創とすると共に、必要な視点や基本原則の中で、市民を中心にした取組の推進や包摂的で多様な社会を目指すことを位置付けている。今後、市民自らデジタルを活用できるような施策の充実を計ると共に、「デジタル・ファースト」を推進することで、高齢者や障がい者などに充分配慮しながら、包摂的で安全安心な地域づくりを進めていく。

めぐみ 各協働センターに高速インターネット回線を導入すべきと、考えますが、どうお考えですか。



【朝月デジタル・スマートシティ推進事業本部長】

市民の皆様の活動拠点である協働センターへの来年度のWi-Fi整備について検討していく。

めぐみ 生涯学習、市民活動、自治会活動のICT活用、デジタル化推進を支援するために、相談窓口設置やセミナー実施などすべきと考えるが、いかがか。



【朝月デジタル・スマートシティ推進事業本部長】

各団体のデジタル活用を支援するため、活動拠点である協働センター等でのICTに関する講座の拡充や自治会を対象とした研修会の開催を検討していく。先進的な取り組みを共有し、横展開を促進していく。

市職員の社会貢献の後押しを！

●兼業許可基準を明確にし、市職員の社会貢献を後押しすべきだと考えますが、いかがか？



男女共同参画の視点からの防災対応を！

数字は語る！ 男女共同参画とは言えない地域防災



1%
(794人中8人)

◀自主防災隊の女性隊長の割合

4.84%
(2269人中110人)

◀女性防災委員の割合

1名

◀防災会議、33人中女性はたった1名

めぐみ 災害時、男女共同参画・文化芸術活動推進センター(あいホール)に「女性支援センター」の役割を持たせる考えはないか。



【奥谷市民部長】

「あいホール」を地域における活動の中核的な役割や機能を担うセンターとして位置付けていく。具体的には、男女共同参画の視点からの情報提供や相談対応、各避難所への巡回指導などが円滑に行われるよう、関係機関と連携・調整を図っていく。

めぐみ意見! 静岡市駿河区では、市の女性会館と

共同して、女性や子育て世代向けの防災連続講座を実施。実際に地域の自主防災隊や自治会の方とマッチングを行っていて、地域の防災に関わる男性の方々の理解を進めるとともに、関係づくりを行っている。参考にして欲しい。現在、**浜松市防災会議、33人中女性はたった1名**。これでは女性の視点が入った防災計画、実施にはなりません。女性の登用を増やすとともに、充て職の制限がない部会などを作り、女性や障害のある人を登用し、多様な視点の入った防災計画に見直して欲しい。

【奥谷市民部長】

NPO法人等への役員就任について、社会貢献活動への参画を希望する職員が、判断に迷って躊躇することがないように、具体的な基準を定めていく。